

防衛省 疑惑まみれ

(社)日米平和文化交流協会の主な会員企業等の6年間の受注金額・天下り献金

受注企業名	受注金額	防衛省からの天下り	自民党への献金
三菱重工機軸	1兆6951億円	38人	1億2097万円
川崎重工機軸	7935億円	18人	1259万円
三菱電機機軸	6045億円	24人	9840万円
日本電気機軸	4440億円	27人	7800万円
朝東芝	2671億円	14人	1億6154万円
石川島播磨重工業機軸	2640億円	17人	6087万円
富士通機軸	1564億円	14人	8040万円
富士重工機軸	1414億円	10人	1億1125万円
朝日製作所	1151億円	14人	1億6838万円
伊藤忠商事機軸	980億円	3人	9700万円
朝ア・エイチ・アイ・エアロスペース	972億円	8人	—
三菱商事機軸	539億円	3人	1億1000万円
住友商事機軸	273億円	3人	1億1000万円
朝山田洋行	226億円	4人	—
朝神戸製鋼所	131億円	2人	5030万円
丸紅機軸	47億円	2人	1300万円
総計	4兆7979億円	201人	12億7270万円

防衛省提出資料及び政治資金収支報告書にもとづき作成

- 注1) 受注金額は、2001年度から06年度の総額
注2) 天下りは、2000年7月から08年12月の防衛相承認分の
注3) 献金は、01年から06年の『国民政治協会』に対する献金総額
注4) アイ・エイチ・アイ・エアロスペースは石川島播磨重工業の100%出資子会社
日本共産党の井上哲士参院議員調べ

参院委で井上議員追及



1.防衛省、重機企業の... パネルを示して福田首相に質問する井上哲士議員。4日、参院外交防衛委

軍政財癒着の「交流協会」 福田首相、理事だった

海上自衛隊をインド洋に再展開する新テロ特措法案の審議が4日、参院外交防衛委員会で始まり、日本共産党の井上哲士議員は、前防衛事務次官の守屋武高容疑者の逮捕で浮き彫りになった一連の疑惑をたどり、「防衛省に憲法にかなわない法案を提出する資格があるのか」と批判しました。(2面に関連記事)

この中で井上氏は、重機専門商社(山田洋行)と元防衛省の高橋元仲容疑者が、政治家とのつながりを深めるために「日米平和・文化交流協会」を足がかりにして、など指摘。日米の重機企業と防衛族議員、軍事の関係者が一体となった同協会の実態をたどり、今年三月まで理事を務めていた福田康夫

新テロ法案 提出資格ない

首相に説明を求めました。首相は「実はこの協会がどういふものかよく知らない」ならど無責任な善弁を繰り返しました。

井上氏は「よくわからないけど(理事を)やったというのには、適用しない」と厳しく批判。同協会が主催する「日米安全保障戦略協会」が、重機企業と政治家、防衛当局が一堂に会して、企業間は情報収集や兵器の開発に力こみまで行っている。そのうえ、米国で開かれ、井上氏ら参院議員の出席も確認された。同協会の常務理事を務める林山直紀氏の証人喚問を求めました。

日本共産党幹部会
志位委員長

